

■自動正立、傾き補正機能を大幅強化

<新画像処理による自動傾き補正実例>

NEW

● 図面

※水平/垂直線がある程度存在するなど、画像として水平/垂直方向が判定できるものに限りです。



従来の傾き補正機能は、OCR の技術を使用したものがほとんどで、文字が少ない原稿や図面、グラフなどの補正には、ほとんど機能しませんでした。しかしながら、当社独自の画像処理により図面やグラフなどの傾き補正が可能なら従来は不可能だった、最大+30度までの傾き原稿の補正も可能になりました。*1 さらに、新たに QR コードを利用した天地自動正立の機能も搭載しています。これに従来の OCR を使用した方式と違い、QR さえあれば確実に自動正立できますので、スキャンや FAX 送信などで、用紙方向を気にすることなく業務を効率的に処理することができます。

*1 すべての原稿が必ず補正できる訳ではありません。試用版等で、事前にご確認いただくことをおすすめいたします。

OCR の設定

- 日本語、英語モード、自動認識モード選択
- 速度優先/精度優先/高精度モード選択 白抜き文字認識設定機能
- 認識エリア指定機能
- 認識結果をテキスト/RTF/XLS ファイルとして出力が可能
- A3/600dpi まで OCR 処理が可能です。

QR コード機能

QR コードモデル2の生成 認識が可能 誤り訂正レベル L/M/Q/H 指定可能
 ・スキャンシート印刷: 任意の GSV ファイル読み込み、QR コード変換し標準カバーシートや指定した TIFF 画像に貼り付け、印刷する事が可能です。

機能比較表

	HGPscanPro for AWF5.2	HGPscanPro for AWF5.2 (BASIC 版)	HGPscanServ Plus5.5
価格(税別)	248,000 円	98,000 円	485,000 円
OCR エンジン	V6	V6	V6
部分 OCR 処理	◎	◎	◎
QR コード生成/認識	○※1	x	フル
高圧縮カラーPDF	◎	◎	◎
自動正立	◎	◎	◎
画像による傾き補正	◎	x	◎
ファイル分割/統合	◎	x	◎
しおり自動設定	◎	x	◎
暗号化	◎	◎	◎
MS-Office	x	x	◎
PDF 配布制限	◎	x	◎
XDW を PDF へ	△(イメージのみ)	△(イメージのみ)	◎
電子署名/タイムスタンプ	x	x	◎
設定ルール数	40	10	無制限

※1 ファイル名/分割機能のみ

- Adobe, Adobe ロゴ, Acrobat ロゴ, Adobe illustrator, Adobe Photoshop, PageMaker および PostScript は、Adobe System Incorporated(アドビシステム社)の商標です。
- Windows, Windows XP, Windows Server2003, Windows Vista は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
- Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
- ApeosWare Flow Service, ApeosPort, DocuWorks, DocuShare, ArcSuite は、富士ゼロックス株式会社の製品名称であり、商標です。
- その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒330-0851
 埼玉県 さいたま市 大宮区 榑引町 1-72-2 HANA ビル 1, 2 階
 TEL 048-654-2141
 FAX 048-654-2142

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

ソフトウェア仕様

- 対応用紙サイズ A0 まで (カラーは A3 まで) 用紙サイズ混在可能

変換元対象イメージフォーマット

- TIFF モノクロ: 非圧縮、G4/G3 圧縮 (シングル/ マルチページ)
 カラー: 非圧縮、PackBit 圧縮、JPEG 圧縮 (24 ビット)、TIFF-FX (Lab) (シングル/ マルチページ)
 グレースケール: 非圧縮、JPEG 圧縮 (8 ビット)
 - JPEG ベースライン (24 ビットカラー、8 ビットグレー)
 - XDW, XBD (DocuWorks フォーマット)
- 注)別途富士ゼロックス製ソフト「DocuWorks」(Ver5.0 以上) が必要です
 ・PDF: G4 圧縮/JPEG

変換先 PDF フォーマット

- PDF1.2/1.3/1.4/1.5/1.6/1.7 (選択可能)
- MMR (G4)/DCT (JPEG)/JPX (JP2)

動作環境

- OS
 Windows XP/2003 Server/Server2008[Service Pack なし/2]
 Windows Vista Ultimate/Business/Enterprise
 Windows7 Professional/Enterprise[Service Pack なし/1]
 ※全て日本語版のみ対応、64bit 版非対応
 ※<BASIC>版は Windows7 非対応
- ハードウェア
 CPU: Pentium4 2GHz 以上推奨
 RAM: 1GB 以上 (2GB 以上推奨)
 DISK: 500MB 以上
- 依存ソフト
 Sun Microsystems Java Run Time 1.6.0
 富士ゼロックス ApeosWare Flow Service 1.2.2 以上
 富士ゼロックス DocuWorks Ver6.0 以上 (Vista の場合、Ver6.2 以上)

価格

HG PscanPro for ApeosWare Flow Service5.2
 248,000 円 (税別)
 ご発注番号: HG2120-WT WindowsXP/2003/Vista/Server2008 用

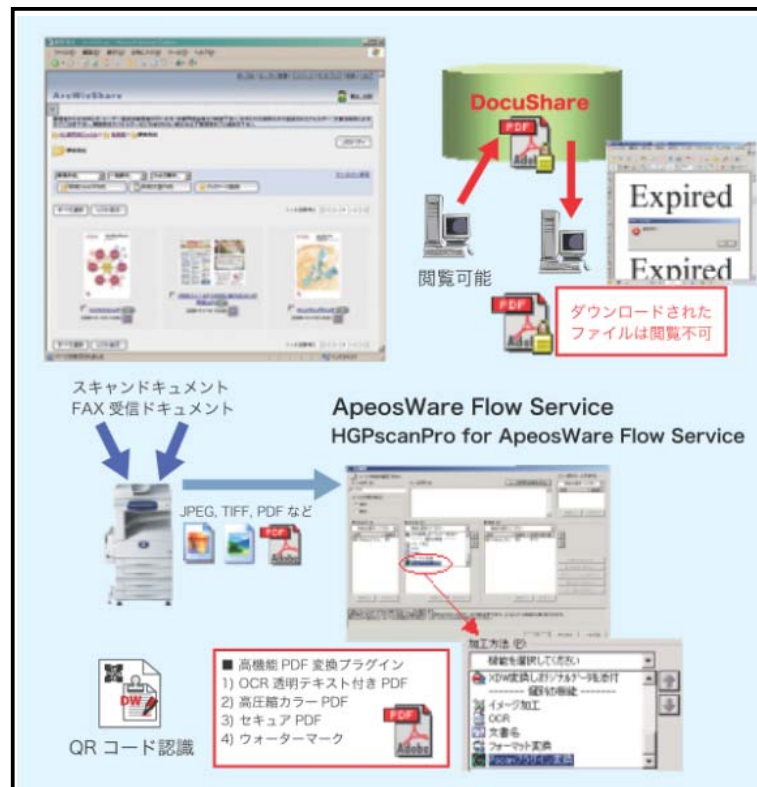
HG PscanPro for ApeosWare Flow Service5.2 <BASIC>
 QR コード認識/生成機能、PDF 配布制限機能がありません
 98,000 円 (税別)
 ご発注番号: HG2121-WT WindowsXP/2003/Vista/Server2008 用

BASIC 版から標準版へのアップグレード
 150,000 円 (税別)
 ご発注番号: HG2120-UP

* 上記価格には初年度のサポート費用も含まれます。

HGPscanPro for ApeosWare Flow Service 5.2

高性能 OCR/QR コード認識機能付き PDF イメージ変換プラグイン



■ TECHNICAL DATA 2011/8

「HGPscanPro for ApeosWare Flow Service5.2」は ApeosPort/DocuCentre 等でスキャンされたデータや既存の画像ファイルから、富士ゼロックス株式会社製の「ApeosWare Flow Service」と連携して、自動的に透明テキスト付高圧縮カラーPDF を生成する、加工プラグインソフトウェアです。また QR コードの認識機能により、ファイル名の自動設定、任意フォルダへの自動振り分けなどが可能です。複数の複合機から利用可能です。従来のパスワードによるセキュリティに加え、有効期限やダウンロード禁止 PDF の生成も可能です。DocuWorks7.0 に対応します。

NEW

画像処理による自動傾き補正機能が付きました。
 (HGPscanPro for AWF5 のみ)
 図面、カラー文書も高精度で自動正立が可能です。
 (詳しくは、最終ページをご覧ください)

■ApeosWare Flow Service の加工プラグインとして PDF 変換/OCR/QR コード認識

スキャンしたカラー紙文書のみでなく、JPEG 方式で圧縮された画像領域、文字領域を含むフルカラードキュメントから、JPEG 圧縮に比べても、更に最大 1/10 程度に圧縮された高圧縮カラー PDF を高速に自動生成生成します。しかも、複数の入力デバイスからネットワーク経由で利用できます。また QR コードの認識機能により、ファイル名の自動設定、任意フォルダへの自動振り分けなどが可能です。

*40 個まで (Basic は 10 個) のルールが設定できます。

■高性能 OCR によるテキスト埋込み機能

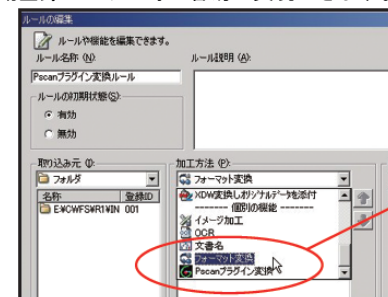
HGPscanPro for ApeosWare Flow Service5.2 は HGPscanServPlus5.3 と同じ最新高精度 OCR エンジンを搭載し、日英混在時の精度向上、精度/速度優先の切替など強化されています。また透明テキストを、元原稿と同じ文字位置に貼りつけたり、レイヤーとすることもできます。このテキストデータは DocuShare や ArcSuite 等の文書管理システムで全文検索することもできます。ページ内の特定エリアを指定して OCR 処理することもできます。伝票番号や図面の図枠内のみ認識する等の設定が可能です。OCR 抽出されたテキストデータは、PDF に貼付けるほか、テキスト/RTF/XLS ファイルとして出力することもできます。

■QR コードでファイル名を自動設定

QR コードツールにて、QR コードを画像として貼付けた電子文書は、紙にプリントした後も、スキャンだけでファイル名を正確に復元した PDF に変換できます。QR コードが読めれば、OCR のような誤認識がありません。また、QR によるファイル名と変換日時で、簡易な版管理も行えます。

■QR コードで任意フォルダに自動振り分けが可能

ラベルなどで QR コードが貼付けられた紙文書、QR コード付き定型文書、あるいはファイル名が QR コード化されたプリントアウトなどは、QR コード認識機能とファイル分割自動振り分け機能で、ファイル名を設定、任意の保存フォルダに自動格納できます。これにより、複合機のペーパーレス FAX と連携して、遠隔地からの受発注や報告書の自動登録システム等が容易に実現できます。



注) QR コード認識機能は BASIC 版にはありません

■文書管理システムへの自動登録

QR コードから取り込まれた属性 (キーワード) 情報は、ApeosWare Flow Service 属性連携により、DocuShare など文書データベースへの自動登録を可能にします。

■暗号化セキュリティ機能

特別なセキュリティサーバシステムを導入する事なく、ルールごとにあらかじめ設定しておくだけで、PDF 生成時に自動処理でパスワードを割り当てることができます。これにより特定の人以外はファイルを開けないようにしたり、テキスト選択、ファイル編集、印刷などを制限することができます。また RSA 40bit、128bit に加え、更に暗号化強度の高い AES 128Bit のセキュリティレベルに対応しており、Acrobat4/5/6/7/8/9 に対して互換性を確保しています。HG 独自の PDF による有効期限、ダウンロード禁止もできます。

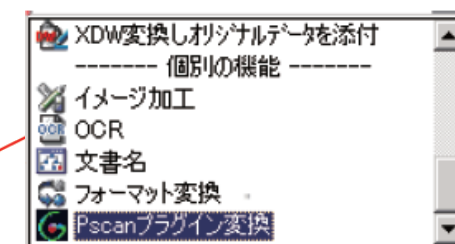


図 ApeosWare Flow Service の加工プラグインとしてリストされます

■紙文書電子化の効率化を追求

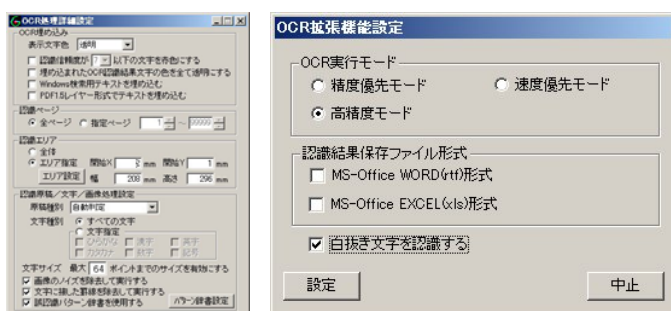
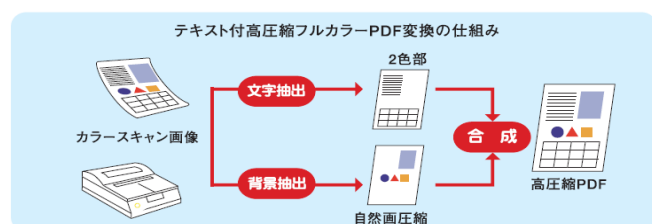
Vista など WindowsOS の標準の検索機能から、高精度な検索機能を持った ECM まで、さまざまな文書検索の仕組みが利用できるようになりました。しかし、MS-Office などで作成された電子文書は、そのまま検索対象とできますが、紙からスキャンされた電子化文書は、検索用のテキストデータを付与しなければ、内容を検索対象にできません。また、紙文書の場合は、ファイル名を正しく付与し、あらかじめ決められたフォルダに正しく振り分けることによって、はじめて文書検索を容易

にし文書の利用価値を高めることができます。しかし、この場合、複合機などでスキャンすると、ファイル名は連番が日付時間になってしまい、業務に適した意味のあるファイル名を付与するのは、大変手間がかかります。後で探すかどうか分からないファイルに新しい情報を付与するための膨大な時間と手間をかけるのはナンセンスです。HGpscanPro シリーズは、紙文書の電子化をいかに自動化するかを非常に重視して開発しています。

▼高圧縮カラーPDF 変換にも標準対応

通常 1~2M バイトにもなるカラー印刷物などのスキャンデータを JPEG などの方法に比べ 1/10 程度に小さく圧縮できます。さらに写真に有利な PDF1.5 対応の JPEG2000 や構成などの赤字だけのスキャンデータをコンパクトにする MC-PDF などを用意しています。

*高圧縮カラーPDF とは、
カラー背景部分と文字部分を特殊な画像処理により分離し、それぞれ最適な方法で圧縮し、標準の PDF 機能だけで高圧縮を実現する高品位の電子化技術です。



精度・速度・高精度を3段階で設定

OCR 設定画面

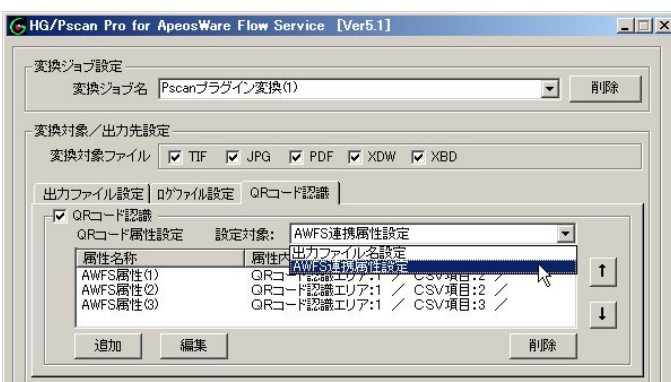
▼QR コードを利用した自動電子化フローを実現

QR コード付のヘッダシートや対象紙文書をスキャナや FAX 経由で HG PscanPro for ApeosWare Flow Service で PDF 変換すると、QR コード内の情報を取り出し、自動でファイル名を付与したり、ApeosWare Flow Service の属性連携でファイルサーバのフォルダ名として利用したりすることが可能です。また、QR コードによってリネームした PDF ファイルは、ApeosWare Flow Service 属性連携を利用して、DocuShare や ArcSuite の属性として利用することも可能です。これにより、複合機のスキャンやペーパレス FAX 機能と連動して、遠隔地からの受発注や報告書、契約書などの自動登録システムへの利用が容易になります。

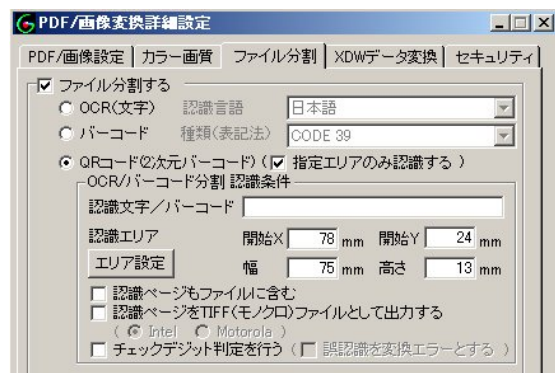
▼一次元バーコード、エリア OCR の利用も可能

過去の図面や伝票など、文書資産の多くに付与されている一次元バーコードや伝票番号などのエリア OCR による自動処理も可能です。また、QR コードとエリア OCR を組み合わせ、より高度な自動処理も可能です。さらに、スキャン処理についても複数の紙文書をまとめて一括スキャンし、QR コードや一次元バーコード、エリア OCR を使用して文書単位に自動分割する機能と組み合わせることも可能で、リネームが不要な場合には、白紙用紙やファイルサイズ指定などにより簡単に、最適な PDF ファイル単位に分割することもできます。

※新たに code128 にも対応しました。



AWFS 属性連携画面



ファイル分割画面

■ファイルベースの実用的なドキュメントセキュリティを実現

高価で運用が難しい認証サーバやセキュリティサーバの導入なしに、PDF ファイルだけで情報漏えい対策ができます。また、ハイパーギア独自のファイル配布制限機能を使えば、暗号化することなくファイルの利用制限を加えることができるので、ファイルの配布制限した状態で、

全文検索も可能な仕組みを構築することも可能です。しかも、セキュアな PDF の作成は、対象ファイルをフォルダに入れるだけの簡単操作で、クライアントソフトの操作を覚える必要がありません。

▼暗号化 PDF 自動生成機能

●パスワード機密保護機能

RSA RC4 40/128 ビット、AES 128 ビットの暗号化 PDF をサーバで自動生成することができます。設定するパスワードは監視フォルダ毎に変更することができます。クライアントソフトで、個人別に設定する必要がないので、プロジェクト等のグループ限定のパスワードを設定して、セキュアに文書を共有する等の運用が簡単にできます。今回新たに、マスターパスワード自動設定機能を追加したので、より安全に暗号化 PDF が運用できます。

●印刷制限機能

企業の情報漏えいルートとして紙の複製や持ち出しによるケースが多く報告されています。クライアントパソコンのモニターで閲覧することはできても、印刷禁止低解像度印刷・コピー不可などの設定を施した PDF を大量にバッチ処理で作成することができます。また、「印刷禁止」「複製厳禁」などのウォーターマークの設定も可能です。

●ハイパーギア独自のファイル配布制限機能

指定した年月日まで、あるいは、変換した日から一定期間のみ閲覧可能な「有効期限付 PDF」や、指定した共有フォルダや URL からのみ閲覧可能で、クライアントにダウンロードしたり、メールに添付して送付したりすると見られなくなる「ダウンロード禁止 PDF」を、簡単に作成することができます。これらのファイル制御を、認証サーバなどへのアクセスが不要なオフライン環境でファイルベースの運用だけで実現できますので、情報システム部門などが不在の中小オフィスや、通信環境が悪い遠隔地やモバイル環境での運用も可能です。

また、協力会社等への指示書や仕様書等を「有効期限付 PDF」で提供する等の運用で、利便性を損なうことなくセキュアな文書共有が実現できます。

注 1) 配布制限機能は BASIC 版にはありません。

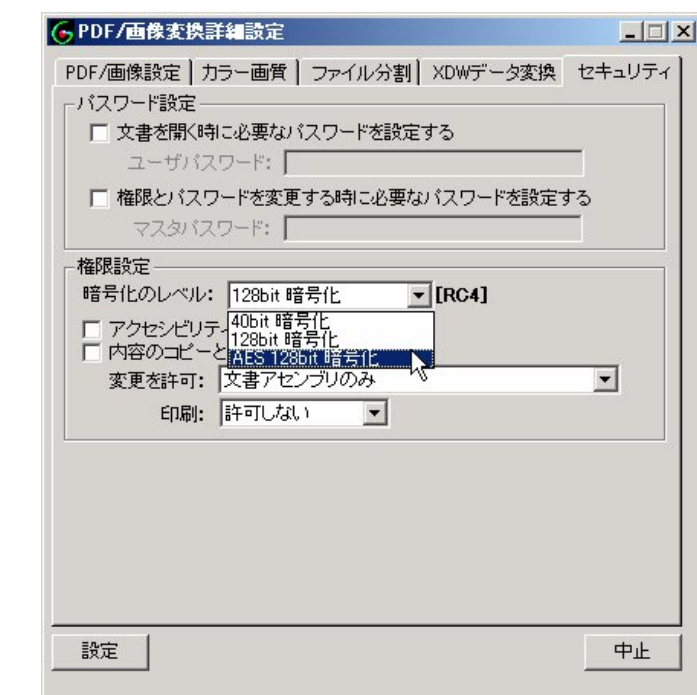
2) より高度な DRM 暗号化ファイルの生成、運用が可能な HGpscanSECURE5 もラインナップしています。

▼QR コード生成ツールを標準装備

QR コード付きスキャンシートを簡単に作成することができる QR コード生成ツールを 1 ライセンスバンドルしています。QR コード情報として取り込みたい内容は、CSV ファイルから取り込みが可能です。スキャンシートのひな形はデフォルトの設定と任意の画像をひな形としてプリンタ出力できる機能を持っています。

さらに追加ライセンスの機能では、以下の機能を搭載しております。

- ・クイック生成
キーボード入力した文字列を QR コード化して BMP 画像出力します
 - ・バッチ生成
CSV のレコード情報を QR コード化して一括で BMP 画像出力します
 - ・QR コード貼付
DocuWorks や doc, xls, pdf ファイルに直接 QR コードを貼り付けます
- 注) QR コード認識機能は BASIC 版にはありません



セキュリティ設定画面



QR コード生成ツール 2.0

スキャンシート印刷機能画面